

中嶋成夫さんを悼む

塩沢商工会長の中嶋成夫さんが昨年11月に80歳で亡くなられました。「おーい、林君。いたか？」とよく市長室にもいらつしゃいました。あの独特な大きな笑い声で。時にこちらが心配することもあった艶めいた話も混じるスピーチや座談は人を魅了、豪放にして磊落。しかし、それは実は装いの姿ではないか、私は次第にそう思うことが多くなっていきました。美しいものが好きなんだよ、と言いつつ、「絵画ならシャガール。田舎が嫌い。一流でなければだめだ」と言いながら、その奥底にあるこの地域を輝かせたいという信念が強烈でした。嫌味や損得の欠片もない、特に若い世代への檄。読書家で繊細なロマンチスト。多くの人に愛されました。

私の失敗の代名詞ともなった「自動車のご当地ナンバープレート」はまさに共闘した思い出のひとつ。推進の検討委員長に就いてくださり、候補名が「雪国魚沼」と決定し、次は図柄選定に。「絵は美人がいい。そう思わないか市長、銀河鉄道99のメーテルのような」その提案のセンスに息をのみました。雪国の繊細な美しさや湿度感、育み紡いでき

た文化や産品をイメージさせる象徴である雪の結晶や稲穂の絵ではなく、「この人は違う」と中嶋成夫という人を理解した。推進活動を断念したとき一番悔しがったのも故人だったことを同志として明記しておきたい。ご自宅からの出棺の直前、鉛色の空は一転、母校早大の応援歌『紺碧の空』のように。私は、昔読んだ「インディアン」の教えを思い出していました。「あなたが生まれてきた時、あなたは大声で泣いていたが周りの人たちは皆笑っていた。あなたが死んだ時、皆は泣いているがあなたは笑っている。そんな生き方をしなさい」という話。いつもの合掌黙念ではなく、牧之通りを埋めた会葬者の温かく鳴りやまない拍手と「成ちゃん、ありがとう」の声。そして、奥様と棺を乗せた車は後輩球児が待つ六高グラウンドを周回し斎場へ向かわれたのだと。名物だった母校卒業式での同窓会長としてのなむけの言葉。晩年の数年は心に遺るものばかりでした。スピーチの最後は毎年違う歌を独唱。最期のそれは「上を向いて歩こう、涙がこぼれないように」。そしていつもの右手を挙げて「おわり！」ユニークな面白い先輩がまたひとりいなくなってしまう。安らかに。

【問合せ】 保健課 ☎773・6811

健康ひろば

ノロウイルスによる食中毒に注意しましょう

例年、冬から春にかけてノロウイルスによる食中毒・感染症が多発するため、県では、11月～3月の期間を『ノロウイルス食中毒予防強化期間』とし、注意を呼びかけています。

○予防するためには、次の4原則を守りましょう！



ノロウイルスによる感染症胃腸炎・食中毒情報 県ウェブサイト

救急医療 ~夜間などに困ったときは~

電話相談

時 19:00～翌朝8:00 (毎日)

・新潟県救急医療電話相談

対 15歳以上

☎025・284・7119 (#7119でも可)

・新潟県小児救急医療電話相談

対 15歳未満

☎025・288・2525 (#8000でも可)

LINEで相談「AI救急相談アプリ」

救急医療の相談や緊急度の判定ができます。

全国版救急受診アプリ「Q助(きゅーすけ)」

緊急度判定を支援し、利用できる医療機関や受診手段の情報を提供します。事前にアプリをダウンロードして、いざというときに備えましょう。

休日・夜間救急 連絡先

・南魚沼市民病院 ☎788・1222

・魚沼基幹病院 ☎777・3200

・齋藤記念病院 (脳神経外科救急) ☎773・5111

詳しくは



AI救急相談アプリ



総務省消防庁ウェブサイト



市ウェブサイト